

資料 8

住民協議会（自分ごと化会議）
説明資料

民主主義の大前提：住民(国民)が政治・行政を「自分ごと」としてとらえること

基本：

チェック機能

政治・行政に関心を持ち、
普段からチェックすること

住民・国民がすること

情報公開

実情を正直に示すこと

政治・行政がすること

仕組みはあるが機能していない

構想日本

政治家や公務員任せにしていたことを、
住民（国民）が直接話し合う会議（**場**）を創る

政治家や行政任せにしていたことを、
住民が直接話し合う会議（場）を創る

自分ごと化 会議

最重要ポイント

参加する住民（国民）を無作為に選ぶこと

➤ なぜ重要か？

- 誰がくるかわからない
（どこかの団体/組織を代表する人ではない）
- シナリオをつくらない（つukれない）

田原本町第5次総合計画策定における特徴

1. 計画を作る「過程」を重視
 - 計画の中身とともに、作るプロセスに幅広い住民が参加することはとても重要。
 - そのプロセスを経ることによって、住民が行政や地域のことを「自分ごと」として捉えられるようになる。
2. 「べき論」ではなく現状把握からスタート
 - 「べき論」では議論が深まらず形式的になりかねない。
 - 現状把握（これまでどのようなことをしてきて現在はどうなっているのかなど）から議論をスタートする（行政は現状をいかに住民に伝えることができるかが重要）。
3. 「個人でできること」「地域でできること」から考える
 - 行政や各種団体への要望に終始するのではなく、課題解決のためにまずは自分たちでできることから考える。
 - 「言いつぱなし」で終わらないように、参加者は具体的な課題とその改善策を記入する。

住民の生活実感が議論の入口
「何をすべきか」ではなく「自分はどうか」の議論

行政やまちづくりへの住民参加の新しい手法

これまで

公募方式

広報紙等で募集し、住民からの応募によって決める方法。

<特徴>

意識の高い人の声を聞くことができる一方で、利害関係者などが手を挙げ、参加者が特定の人に固定化する傾向。

推薦・一本釣り方式

団体からの推薦や首長の一本釣りで決める方法。

<特徴>

専門性の高い人や地域の有力者を選ぶことができる一方、毎回団体の長を選ぶことによる形骸化や参加者の固定化などの課題あり。

これから

公募方式

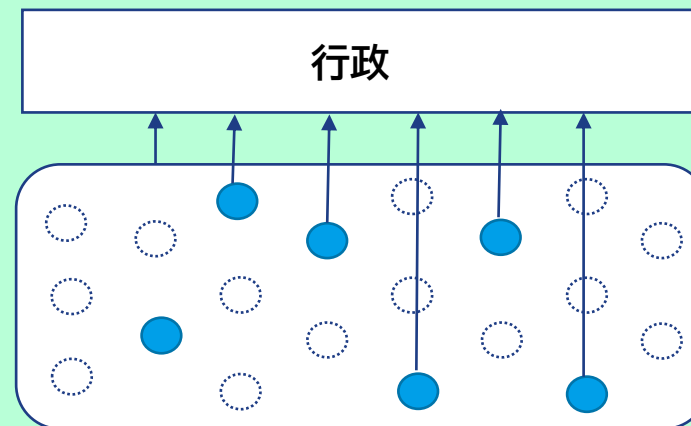
推薦・一本釣り方式

無作為抽出方式

無作為で抽出した住民に案内を送付し、その中の応募者が自分ごと化会議に参加する方法。

<特徴>

社会や公共的なことに一定の関心がある人たちが参加



年齢・性別・住む地域・職業など異なる多様な住民での対話が可能に

① 住民協議会委員

3つの班に分かれ、それぞれのテーマについての現状を把握し、普段の生活から感じることなどをもとに住民間で議論する。議論しながら感じたことを「改善提案シート」にまとめる。最終的には住民協議会として提案書をまとめ、計画策定の重要な素材とする。

② コーディネーター（進行役、構想日本が選定）

議論の進行役および論点整理、必要に応じて論点の提示、事実関係の確認などを行う。

③ ナビゲーター（外部の視点からの論点提示役・外部有識者）【第3回目に予定】

議論を行う際の論点提示役。専門的視点からの意見や視点の提供を行う。

④ 各テーマ関連の担当課

それぞれの班のテーマに関係する職員が、テーマの現状や行政の仕組みなどについて説明し、必要に応じて住民協議会委員やコーディネーター、ナビゲーターからの質問に対応する。

<第1回>
各テーマの現状説明
【現状把握】

【目標】 住民協議会の趣旨と各テーマの現状を把握し共有する

- 住民協議会の趣旨を説明
- 町担当課からテーマに関係する現状と取り組んでいる事業を説明
- 自己紹介、テーマに関し感じていること等を共有

<第2回>
各テーマの現状を議論
【現状把握～発散】

【目標】 各テーマの現状から課題を整理し改善策を検討する

- 日常で感じている課題を出し合い整理する
- 第1回で議論した主な事業のうち、必要に応じ現地視察調査を実施する
- 整理した課題の解決策を議論し、改善提案シートにまとめる

<第3回>
議論のまとめ
【集約】

【目標】 課題と解決策のとりまとめを行う

- これまでの議論をふまえて作成された改善提案シートを整理し、議論をとりまとめる
- ナビゲーターを招き、専門的立場からの問題提起や視点を提供
- 新たな課題について解決策を議論し、改善提案シートにまとめる

<第4回>
提案書素案の確認・検討
【まとめ】

【目標】 これまでの住民協議会の「エッセンス」を提案書素案に確実に反映させる

- 前3回の会議をふまえて作成された提案書素案と計画書（基本構想）素案に自分たちの意見が反映されているか確認する。さらに意見を出し合う。

- 地域のつながりづくり（関係課：健康福祉課、長寿介護課、防災課、総務課）
 - 福祉・健康・防災・コミュニティといった「暮らしの安心・安全」の基盤
- かせぐ地域づくり（関係課：かせぐ地域課、まちづくり建設課）
 - 産業・雇用・インフラ整備といった「町の活力・経済」の基盤
- 未来を育むまちづくり（関係課：こども未来課、教育総務課、文化振興課）
 - 子育て・教育・文化といった「人づくり・次世代」への投資

あなたが考える現状の課題	その課題を解決する方法
<例> 公園が利用されていない	<u>(住民の役割)</u> ・個人として 知らない公園が多いので把握する ・地域として 草刈りなど、公園整備のサポートをする 休憩用のベンチを提供する
	<u>(行政の役割)</u> 街の中にある遊び場のマップを作成する
	<u>(その他)</u>

検討会において議論
をする中で参加委員
が考えた現状の課題
を記載

あなたが考える現状の課題	その課題を解決する方法
	<u>(住民の役割)</u> ・個人としてできること ・地域としてできること
	<u>(行政の役割)</u>
	<u>(その他)</u>
	自助 共助 公助

その課題を解決
するにあたり、
個人、地域、行
政それぞれが取
り組むことを記
載